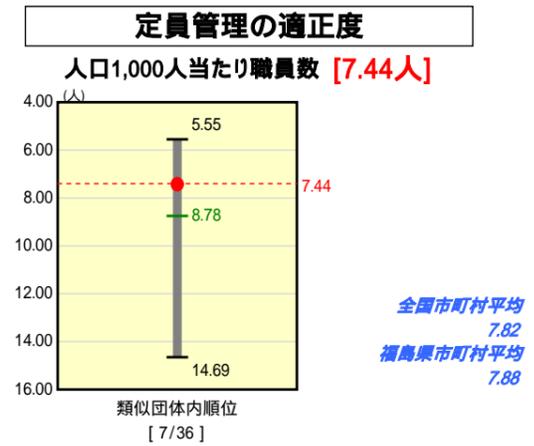
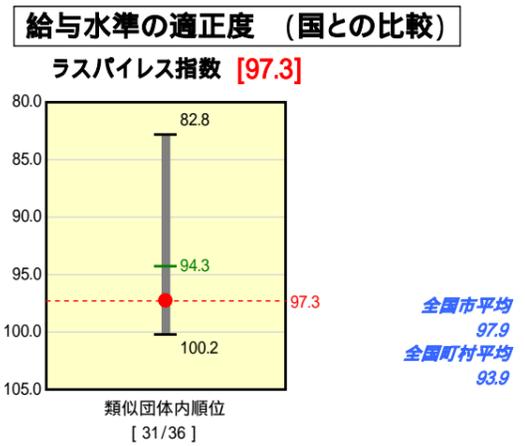
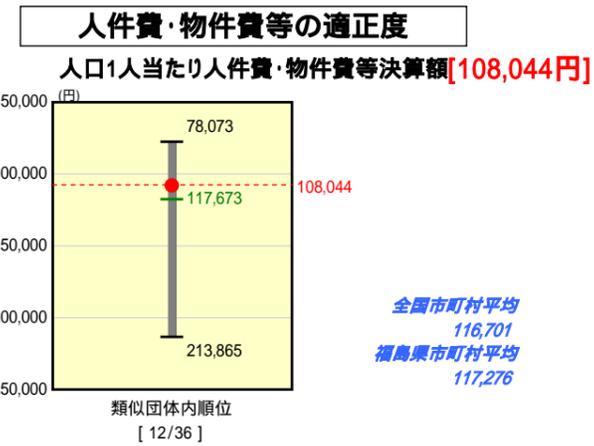
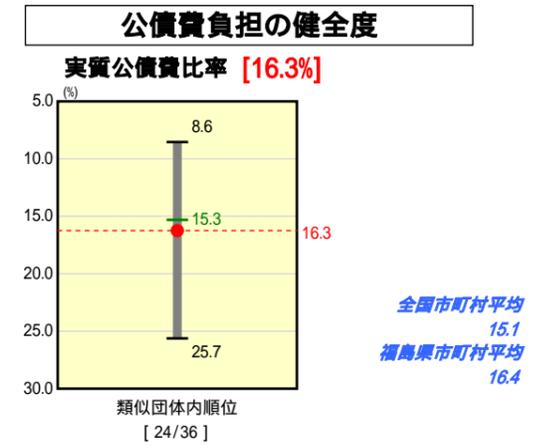
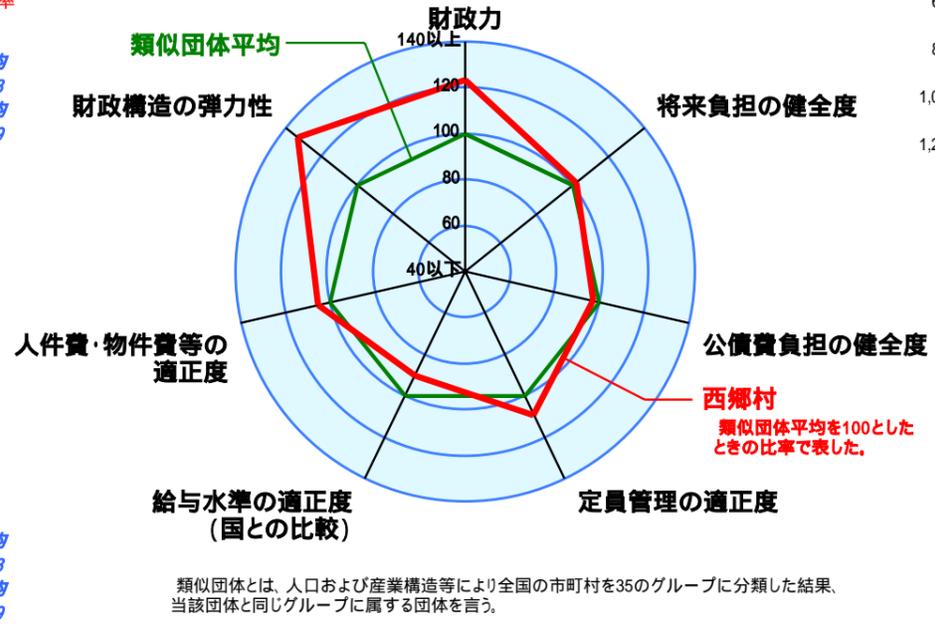
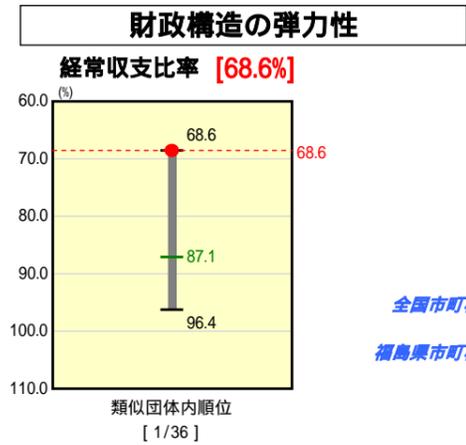
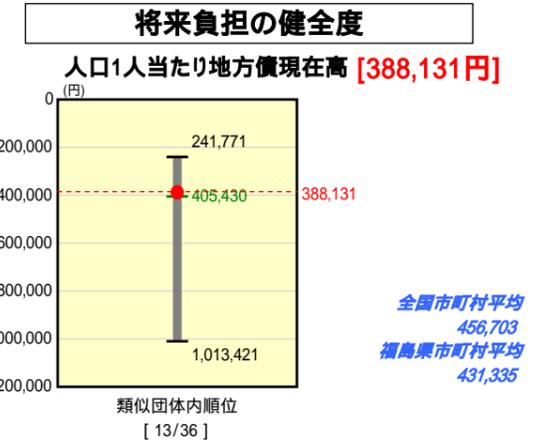
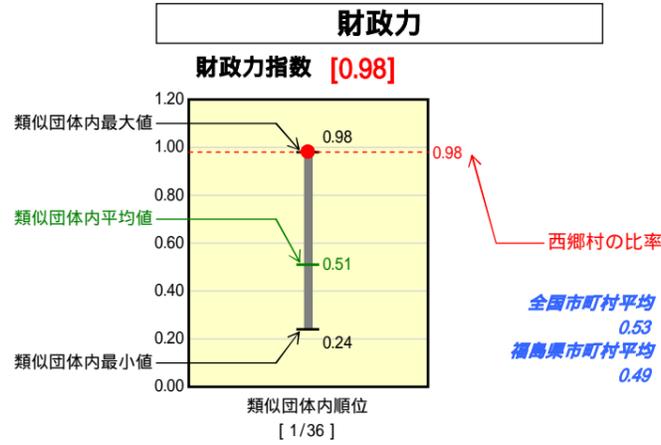


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 西郷村

人口	19,624 人	(H19.3.31現在)
面積	192.32 km ²	
歳入総額	7,738,164 千円	
歳出総額	7,517,668 千円	
実質収支	220,496 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
定率減税の縮減による個人村民税の増や、固定資産税についても村内企業の積極的な設備投資が持続した結果、高水準であった前年度並みの税収があったため、財政力指数が0.98となっている。自主財源比率は前年度と比べてもほぼ同じである。税目別にみると、前年度と同様、景気動向に左右されやすい法人税や企業の一時的な設備投資に係る償却資産によるところが多いため、今後も徴税の強化等、安定的な村税収入の確保に努める。

経常収支比率:
歳入のうち、村税の占める割合が高いため、類似団体平均を大きく上回っている。ISO14001環境マネージメントプログラムに沿って需用費の削減を、集中改革プランにより経常経費の削減を図る。

実質公債費比率:
経常収支比率と同様、歳入のうち村税の占める割合は高いが、土地開発公社委託事業が多いため、類似団体平均をやや上回っている。今後については、財政状況をみながら繰上償還の実施や、実施計画(投資重点事業)等での大型事業の適切な取捨選択をし、実質公債費比率の急激な上昇を抑えていく。

人口1人当たり地方債現在高:
類似団体平均をやや下回っている。継続事業及び予定している大型事業を除く事業について内容を検討・精査し、投資的経費の削減を図っていく。

ラスパイレズ指数:
経験年数7~10年(大卒)の階層で、全体のラスパイレズ指数に比べ10ポイント以上上回り全体の比率を押し上げている。平成19年1月に昇格運用基準の見直しを行い、指数の上昇を抑えていく。

人口1,000人当たり職員数:
類似団体平均をやや下回っているが、集中改革プランでは、事務事業の整理合理化等により(14項目)により、平成17年~平成22年で、退職者の7割補充を基本に、13人、7.3%の削減を図ることを目標としている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均をやや下回っているのは、主に人件費を要因としており、職員数の減(前年度比6名)によるところが大きい。物件費についても前年度比42,811千円、5.1%となっており、今後も集中改革プランに沿った経常経費の削減を図っていく。